

Sun Fire™ Link システム サイト計画の手引き

Sun Fire™ Link システムの設置を計画するときは、『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムサイト計画の手引き』または『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』に記載されたサイト計画に関する仕様を満たしていることを確認してください。

スイッチ用のキャビネット

Sun Fire Link スイッチは、Sun StorEdge™ キャビネットに取り付けることをお勧めします。また、Sun Fire キャビネットも、Sun Fire Link システム用のオプションとして使用できます。どちらの場合でも、図 1 に示す位置にスイッチを取り付けます。

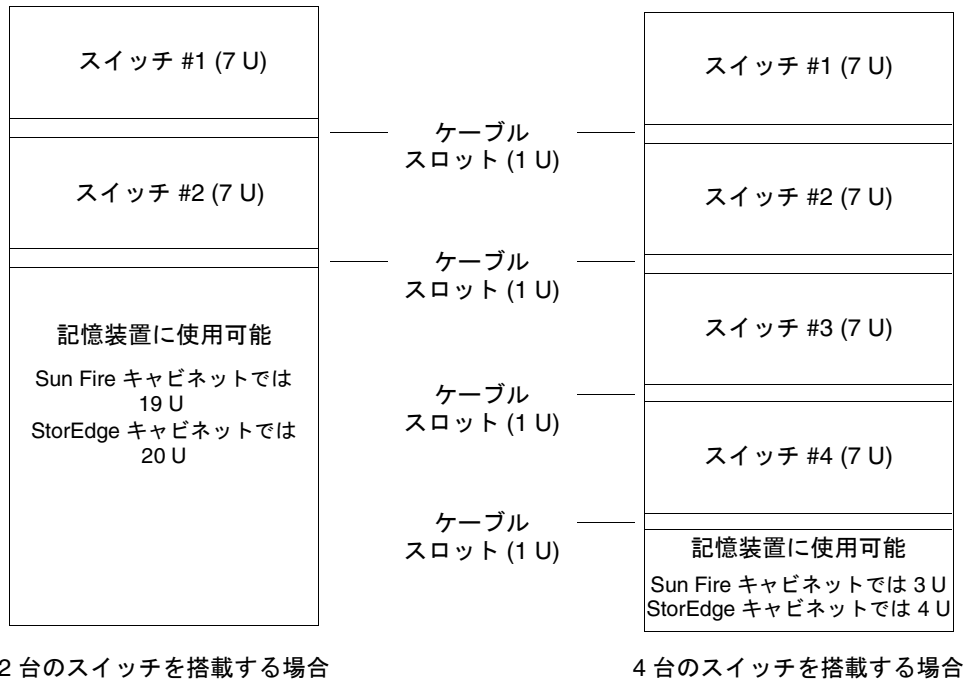


図 1 ラック内のスイッチの配置

コンピュータールーム環境でのサーバーの配置

『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムサイト計画の手引き』または『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』に記載されたすべての環境要件は、Sun Fire Link システムにも適用されます。必要なケーブルの長さは、物理的な配置およびノードとスイッチ間の距離によって決まります。図 2 に、Sun Fire 6800 システム 3 台および Sun Fire 15K システム 1 台、Fire Link スイッチ 2 台で構成される 4 ノードクラスターの配置を示します。

Sun Fire 6800 および 15K/12K システムと
スイッチ間の Sun Fire Link 用ケーブル (8 本)

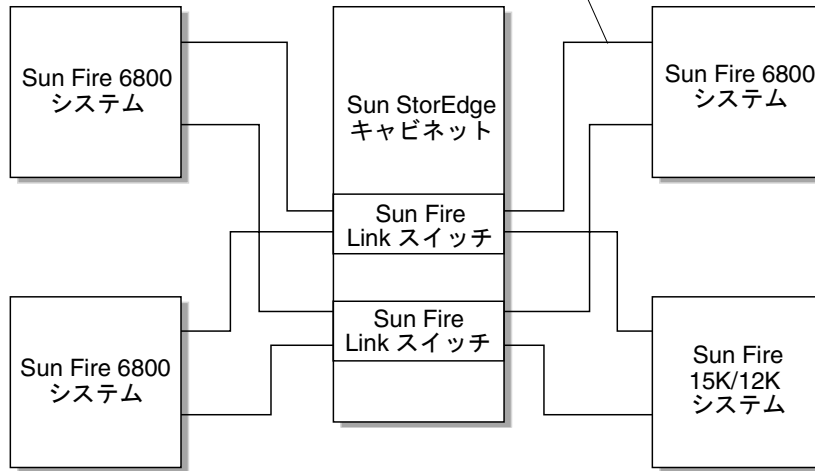


図 2 ケーブル要件の例

Fire Link のケーブル

使用する構成に必要な Fire Link 用光ケーブルを注文するときには、次の点に留意してください。

- Fire Link 用ケーブルの長さは、5 m および 12 m、20 m です。
- ケーブルの長さをできるだけ短くすると、コストを削減できます。
- 5 m のケーブルは、隣接するラックに搭載されたシステムを接続する場合にだけ使用できます。
- 各 Sun Fire システム間の距離は、慎重に計測してください。必要なケーブルの長さを計算するときは、次に示す項目のうち設置環境に該当するものをすべて計算に含めてください。
 - Sun Fire システムからケーブルトレイまでの距離 (必要な場合)
 - 床下または頭上のケーブルトレイを通すための距離
 - 直接接続構成ではケーブルトレイから次のシステムまでの距離、スイッチ構成ではケーブルトレイからスイッチまでの距離

Sun Management Center の要件

Sun Fire Link クラスタを構成および管理するには、Sun Fire Link Manager (FM) と呼ばれるソフトウェアモジュールのサービスを使用します。FM は、Fire Link クラスタの外部にある「管理ステーション」と呼ばれる集中管理ホスト上で実行します。このシステムは、TCP/IP ネットワークを介して Fire Link クラスタ内のホストに接続します。

FM には、Sun Management Center (SunMC) 用の追加ソフトウェアが含まれています。この追加ソフトウェアを使用すると SunMC の管理機能が拡張されて、Fire Link クラスタを SunMC 管理ドメインの一部として管理できるようになります。Fire Link 管理ステーションおよび SunMC サーバーは、同一のホストシステム上に置くことも、異なるマシン上に置くこともできます。

FM には、コマンド行インタフェースと、Sun Fire Link クラスタの構成および管理を行う機能があります。ただし、すべての構成ツールおよび管理ツールを使用するには SunMC 用の追加ソフトウェアが必要であるため、必須ではありませんが、SunMC (と管理コンソールとして設定されたワークステーション) を使用して Sun Fire Link クラスタを構成し実行することをお勧めします。SunMC ソフトウェアのツールおよびグラフィカルインタフェースを使用する場合は、ワークステーションおよびモニターを Sun Fire Link クラスタと同じ TCP/IP ネットワークに含める必要があります。管理コンソールは、『Sun Management Center 3.0 Configuration and Deployment Guide』に記載されているハードウェア要件を満たす必要があります。このマニュアルは、次の URL から入手できます。
<http://docs.sun.com/db/coll/810.1>

Sun Fire Link システムに必要なシリアル接続および Ethernet 接続

Sun Fire Link システムを設置する前に、必要なケーブルがそろっていて、図 3 および図 4 に示す Ethernet 接続および NTS 接続を配線する準備が整っていることを確認してください。

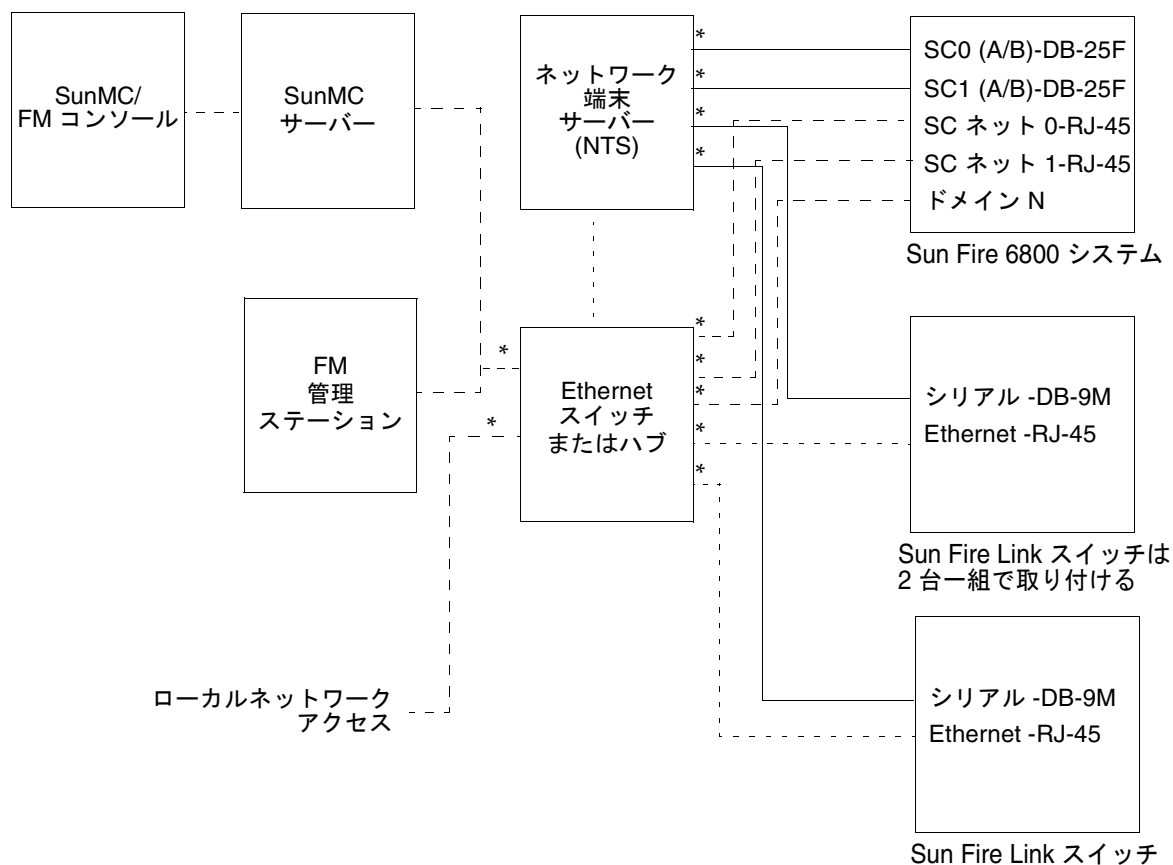
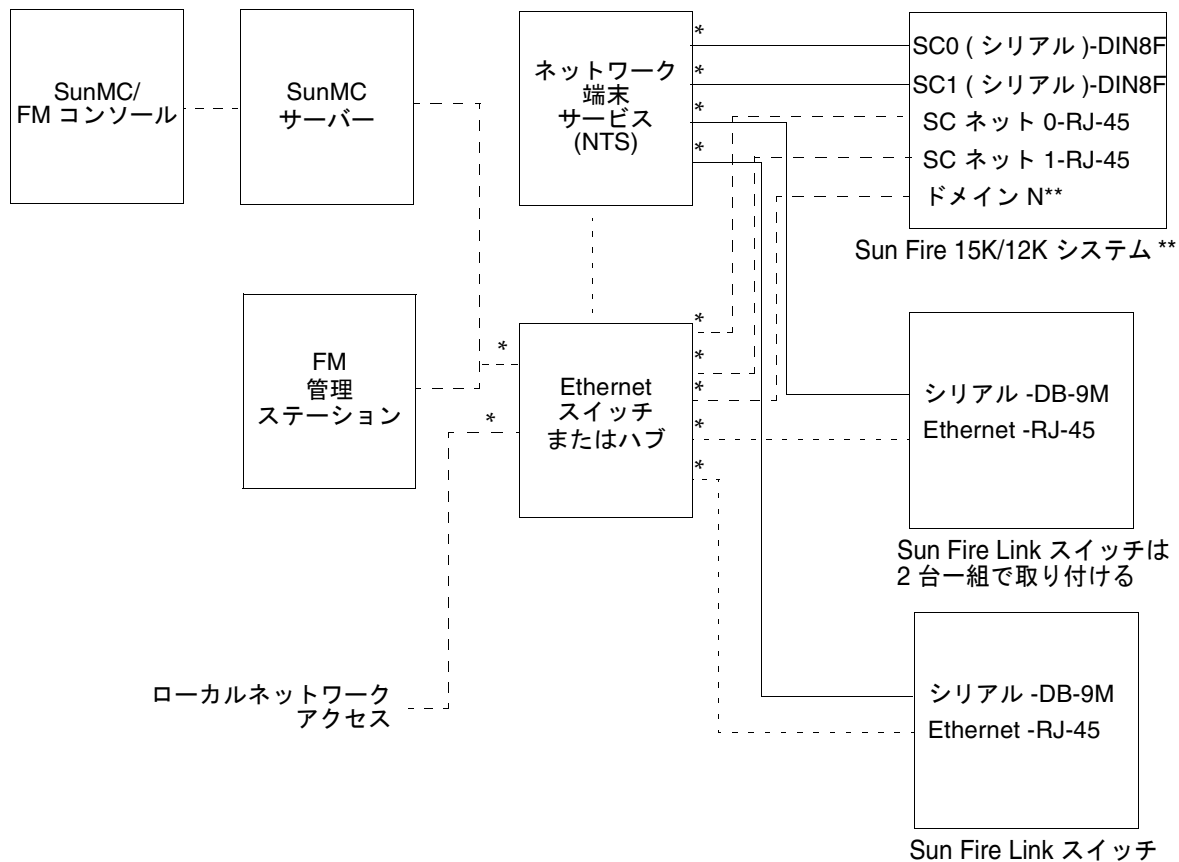


図 3 シリアル接続および Ethernet 接続 (Sun Fire 6800 構成の場合)

注 - 図 3 に示す要件は、クラスタ内の各 Sun Fire 6800 システムに適用されます。



* 両端のケーブルコネクタの種類が正しいことを確認してください。

** この構成では、ドメインを 4 つまでサポートします。各ドメインに Ethernet 接続が必要です。

図 4 シリアル接続および Ethernet 接続 (Sun Fire 15K/12K 構成の場合)

注 - 図 4 に示す要件は、クラスタ内の各 Sun Fire 15K/12K システムに適用されます。

Sun のオンラインマニュアル

各言語対応のマニュアルを含むサン各種マニュアルは、次の URL から表示または印刷、購入できます。

<http://www.sun.com/documentation>

コメントをお寄せください

弊社では、マニュアルの改善に努力しており、お客様からのコメントおよびご忠告をお受けしております。コメントは下記宛に電子メールでお送りください。

docfeedback@sun.com

電子メールの表題にはマニュアルの Part No. (817-0567-10) を記載してください。なお、現在日本語によるコメントには対応できませんので、英語で記述してください。

Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。Sun、Sun Microsystems、Sun Fire は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

原典: *Sun Fire Link Systems Site Planning Guide* (Part No.: 816-6592-10)



Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A.
650-960-1300, Fax 650-969-9131

